

20周年記念植樹の実施にあたっては園内の何処に植樹をするか、園と共に検討を行い、旧広瀬家の西側庭に植えることになった。植樹場所が決まった後、環境整備チームに植樹する樹木の検討を依頼した。環境整備チームからは植樹場所が甲州市塩山から移築された広瀬家であることから、コウシュウコウメ（甲州小梅：バラ科サクラ属）が良いとの提案を受けた。

20周年記念式典が実施された9月28日（日）は植物の植え替えに適した時期ではないため、記念植樹は翌年3月まで延期され、3月10日の午後、園芸業者の手で旧広瀬家の西側に3本のコウシュウコウメが植えられた。炉端の会としての記念植樹式は4月10日の例会終了後、例会参加者が全員、旧広瀬家の庭に移動し、記念樹の仮立札を設置し、野田会長による鍬入れ式が行われた。この後、野田会長、小林新園長を中心に参加者全員で集合写真を撮り、記念植樹の式典を終了した。

（編集委員 10期 金曜 広瀬）



記念植樹の場所と植樹された3本のコウシュウコウメ



記念植樹仮立札の設置



野田会長による鍬入れ式



記念植樹参加者の集合写真